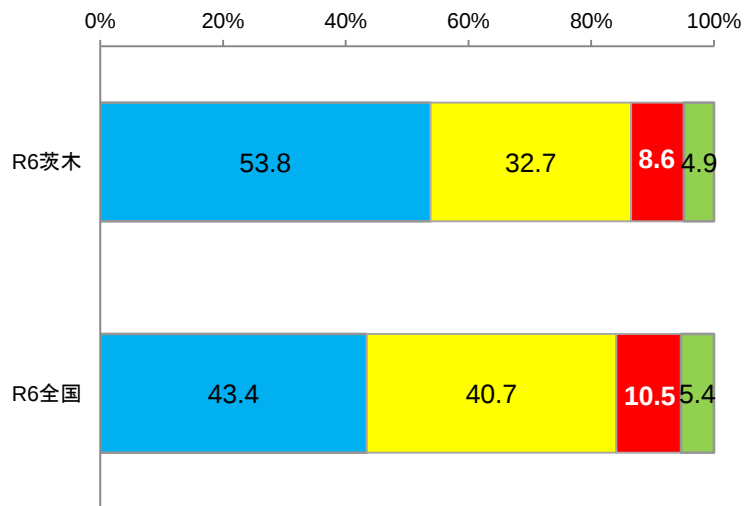


児童・生徒質問紙調査から、主な回答をピックアップし、全国の回答結果と比較したグラフを示しています。

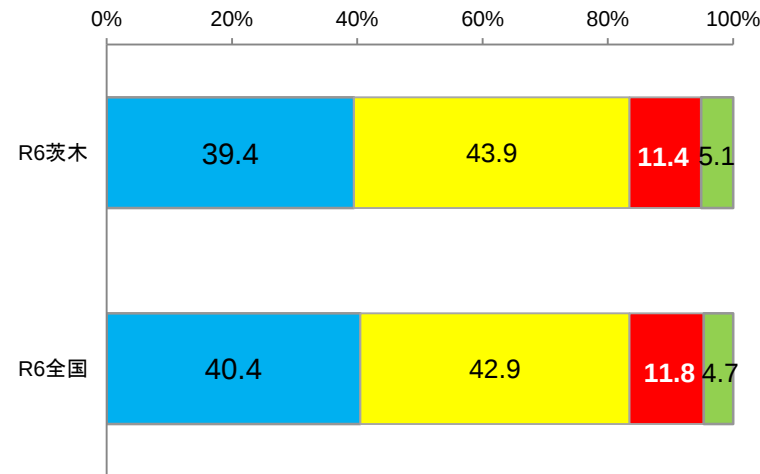
■ あてはまる ■ どちらかといえばあてはまる ■ どちらかといえばあてはまらない ■ あてはまらない

自分にはよいところがあると思いますか

小学校

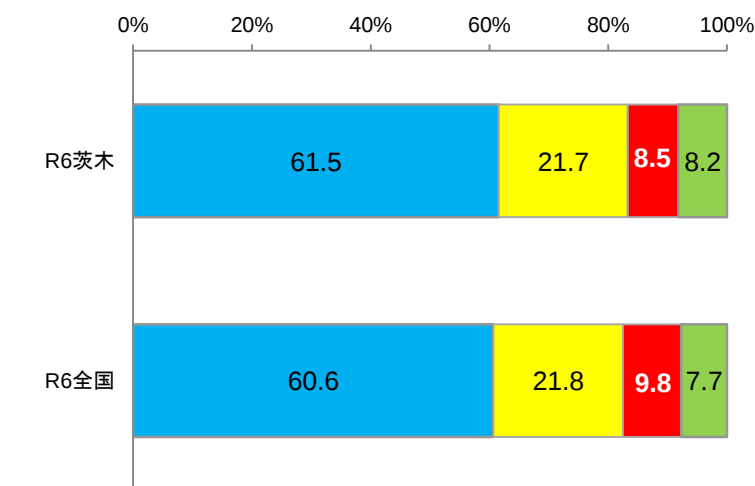


中学校

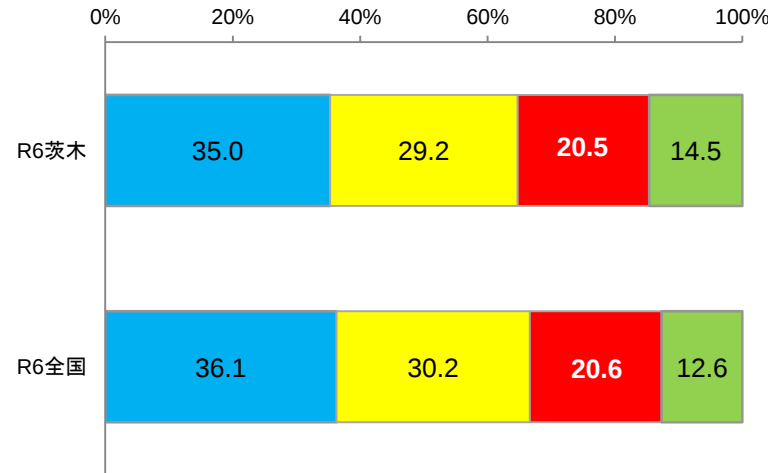


将来の夢や目標を持っていますか

小学校

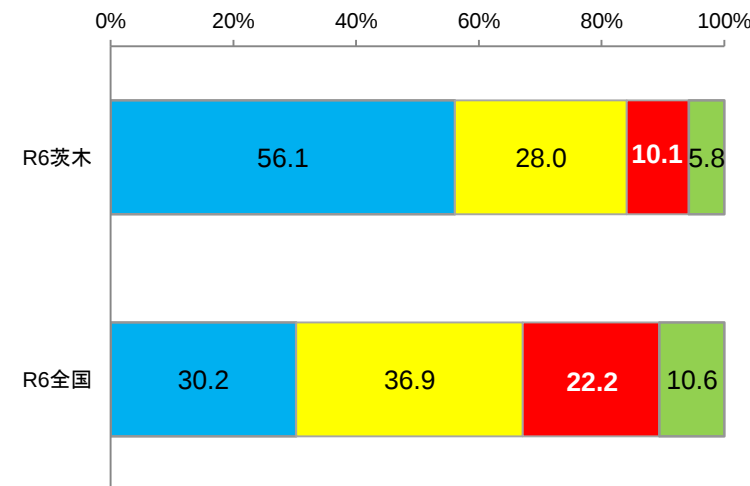


中学校

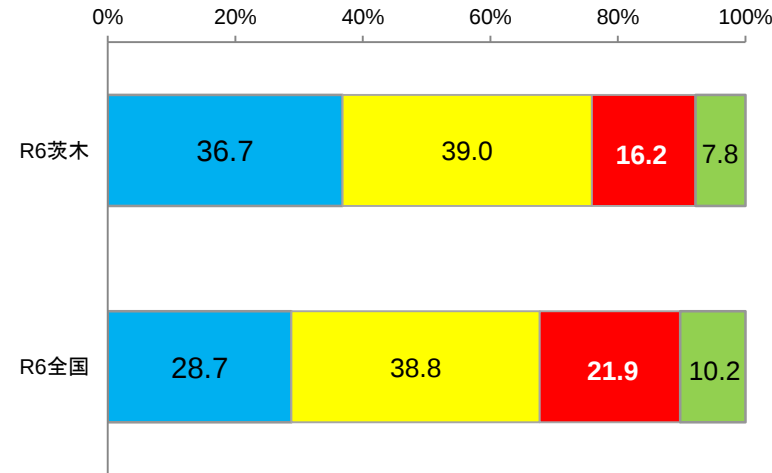


困りごとや不安がある時に、先生や学校にいる大人にいつでも相談できますか

小学校



中学校



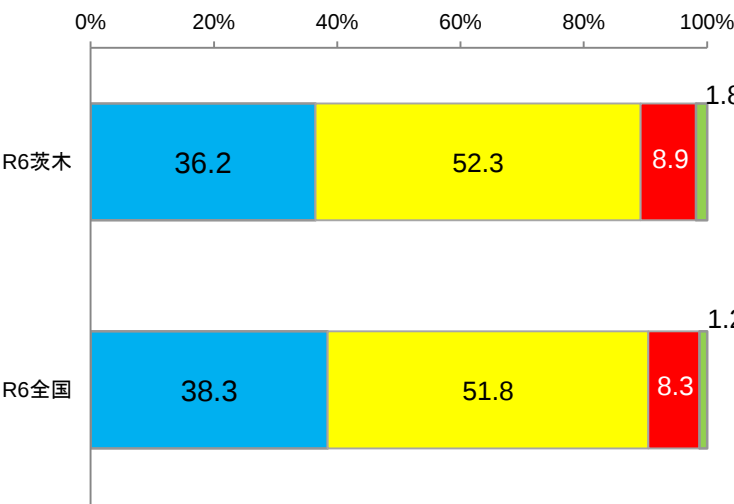
■あてはまる ■どちらかといえばあてはまる ■どちらかといえばあてはまらない ■あてはまらない

人が困っているときは、進んで
助けていますか

小学校

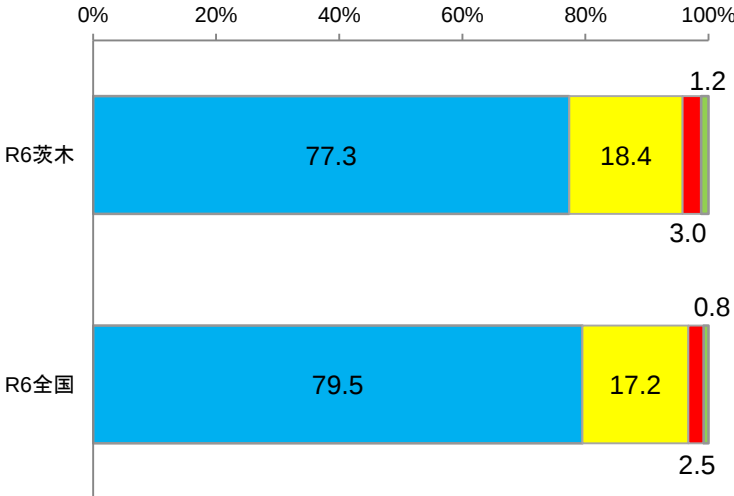


中学校

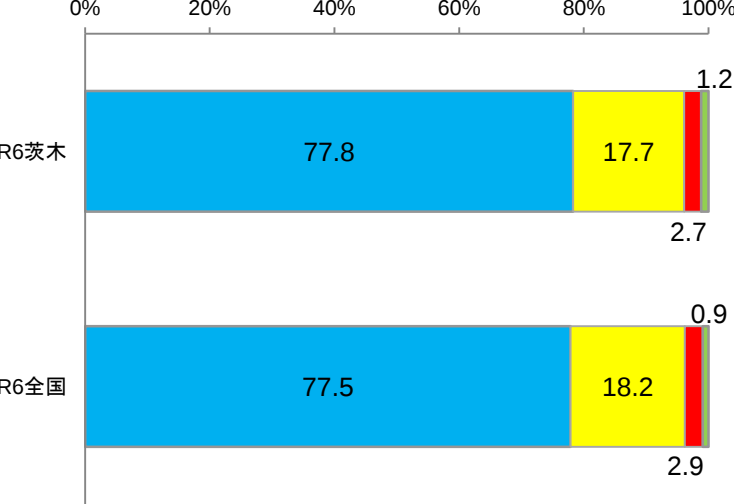


いじめは、どんな理由があっても
いけないことだと思いますか

小学校

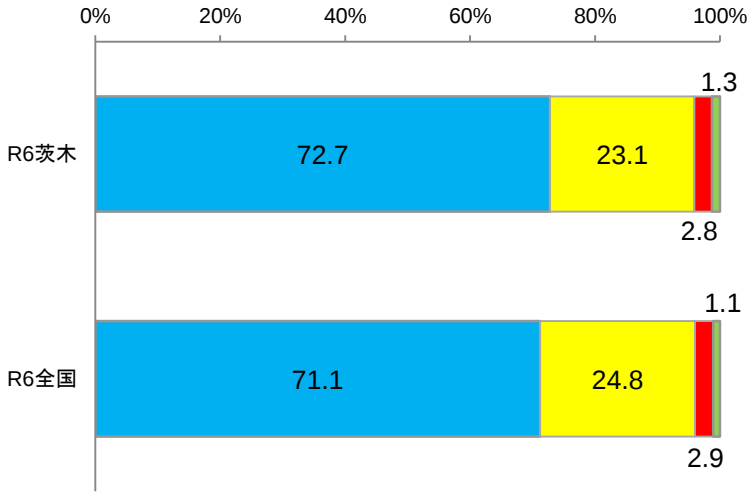


中学校

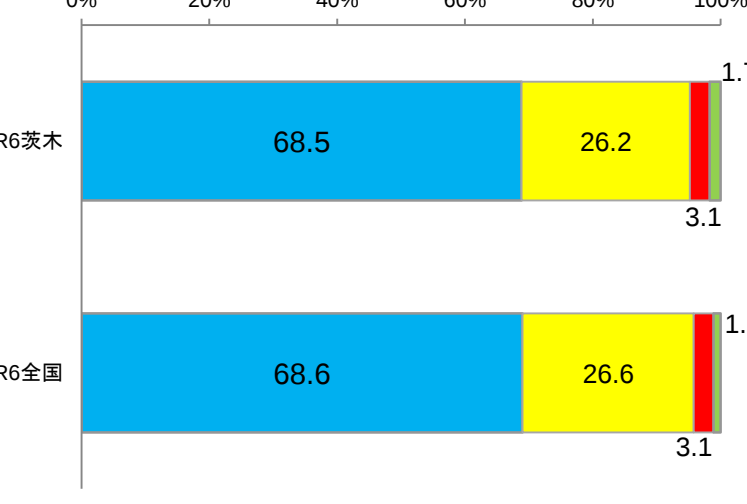


人の役に立つ人間になりたいと
思いますか

小学校



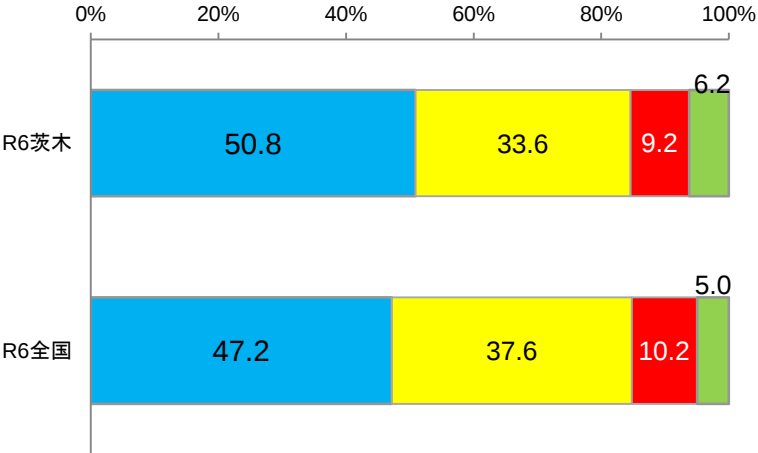
中学校



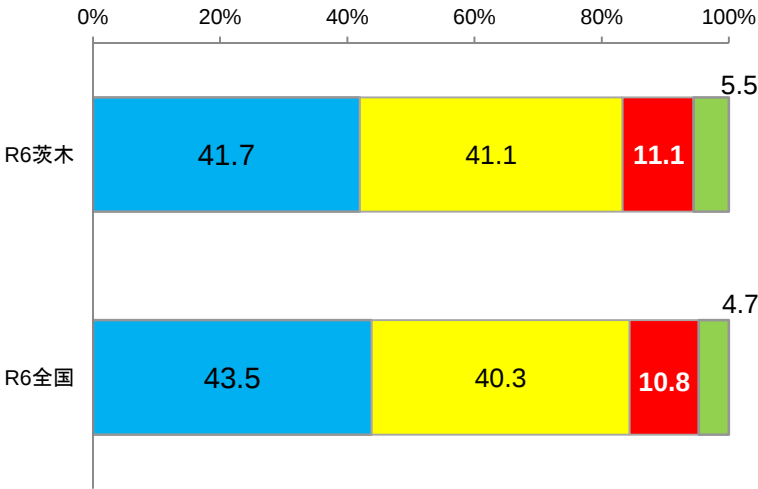
■ あてはまる (よくある) ■ どちらかといえばあてはまる (ときどきある) ■ どちらかといえばあてはまらない (あまりない) ■ あてはまらない (全くない)

学校に行くのは楽しいと思いますか

小学校

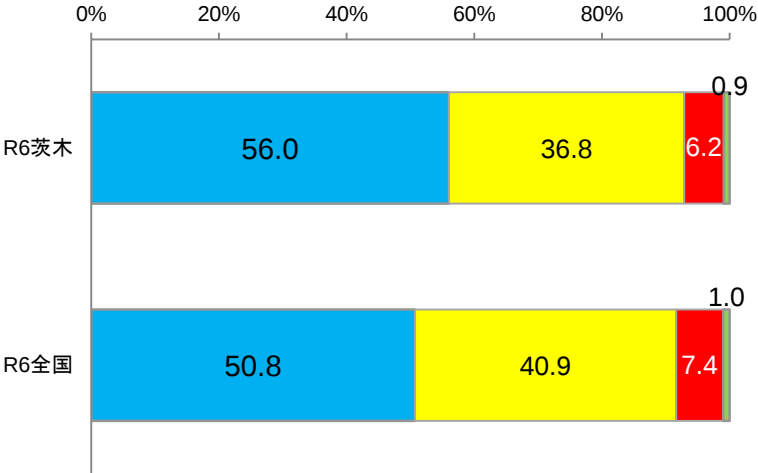


中学校



普段の生活の中で、幸せな気持ちになることはどれくらいありますか

小学校

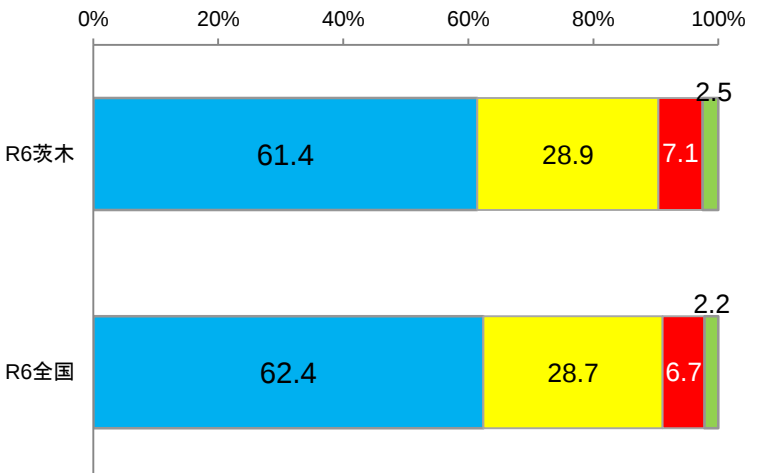


中学校

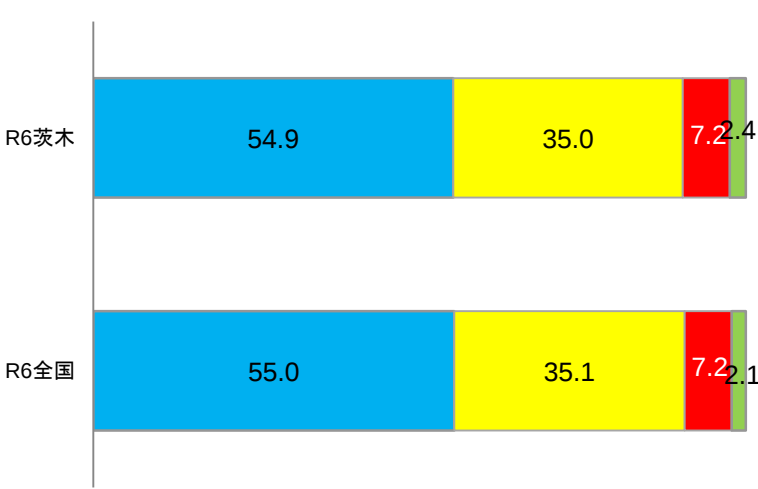


友達関係に満足していますか

小学校



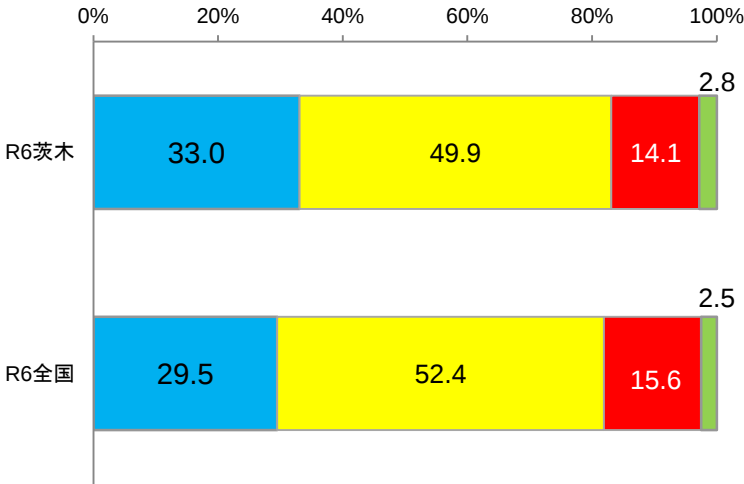
中学校



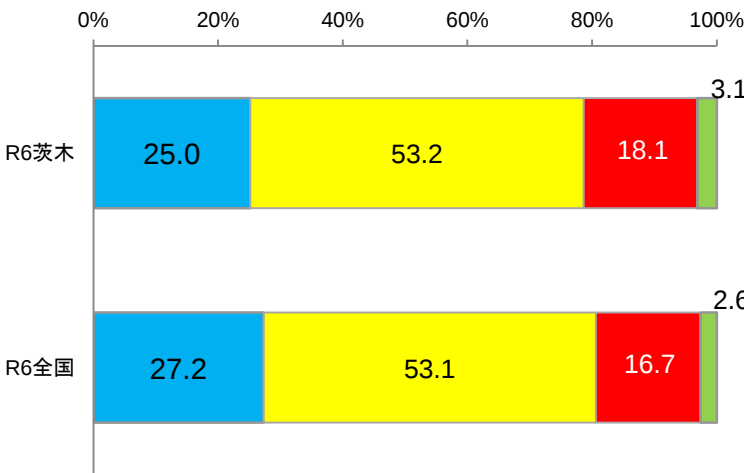
■あてはまる ■どちらかといえばあてはまる ■どちらかといえばあてはまらない ■あてはまらない

課題の解決に向けて、
自分で考え、自分から取り組んで
いましたか

小学校

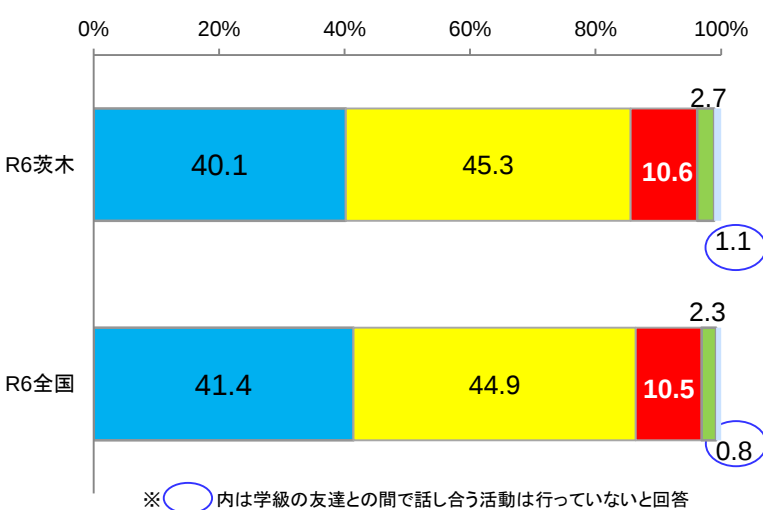


中学校

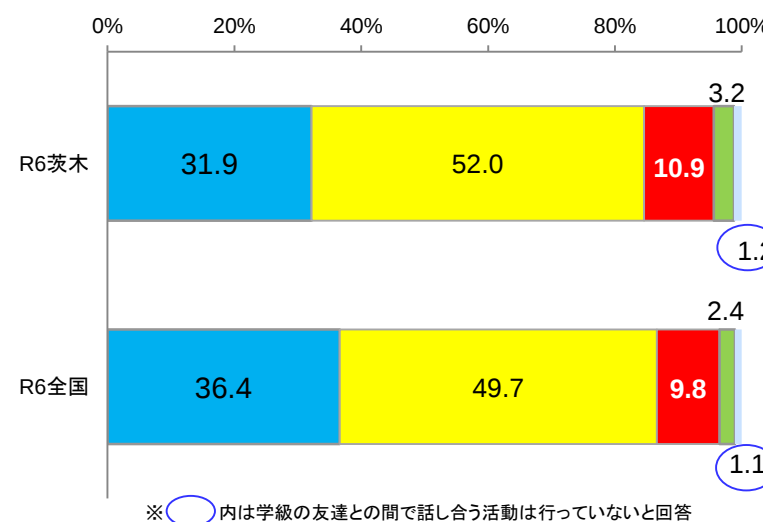


学級の友達との間で話し合う活動を通じ
て、自分の考えを深めたり、新たな考え方
に気付いたりすることができていますか

小学校

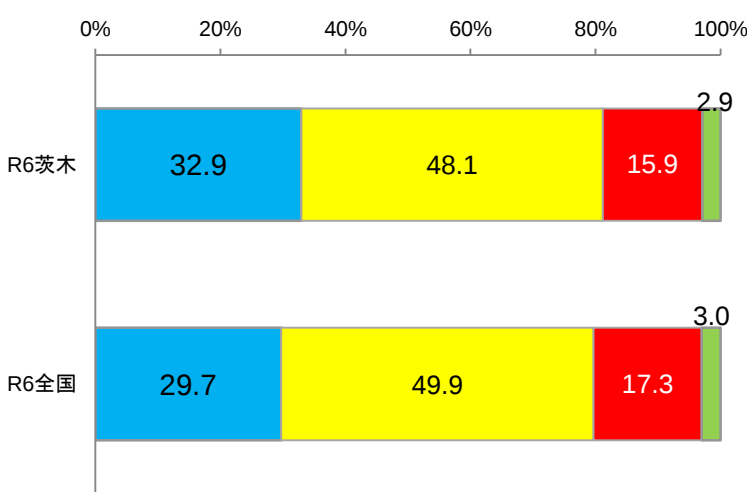


中学校

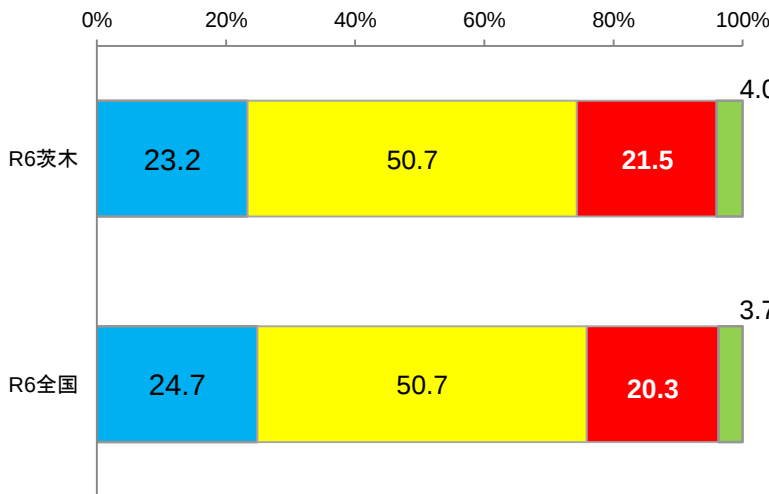


各教科などで学んだことを
生かしながら、自分の考えを
まとめる活動を行っていましたか

小学校

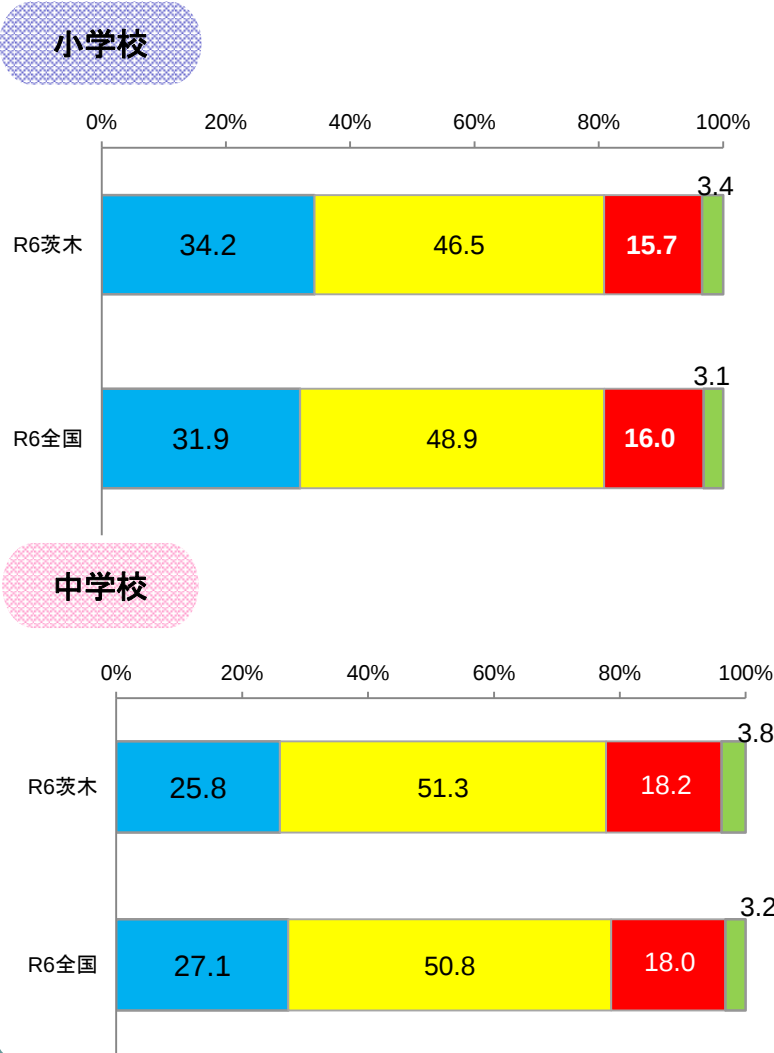


中学校

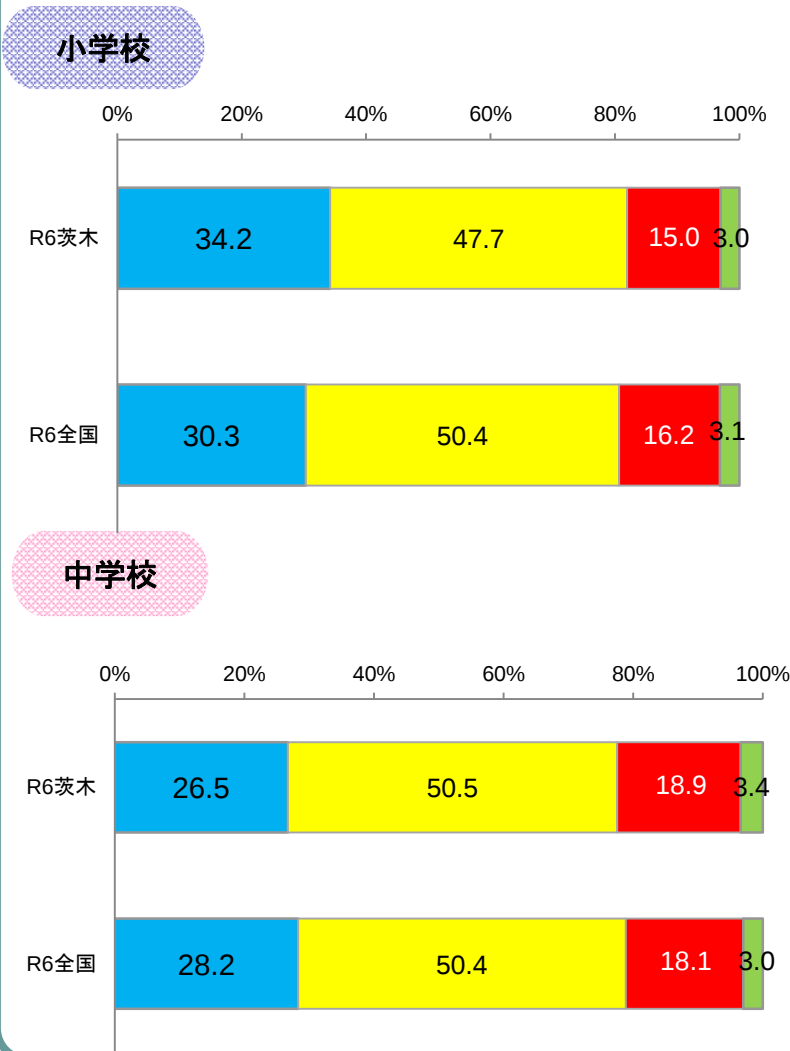


■あてはまる ■どちらかといえばあてはまる ■どちらかといえばあてはまらない ■あてはまらない

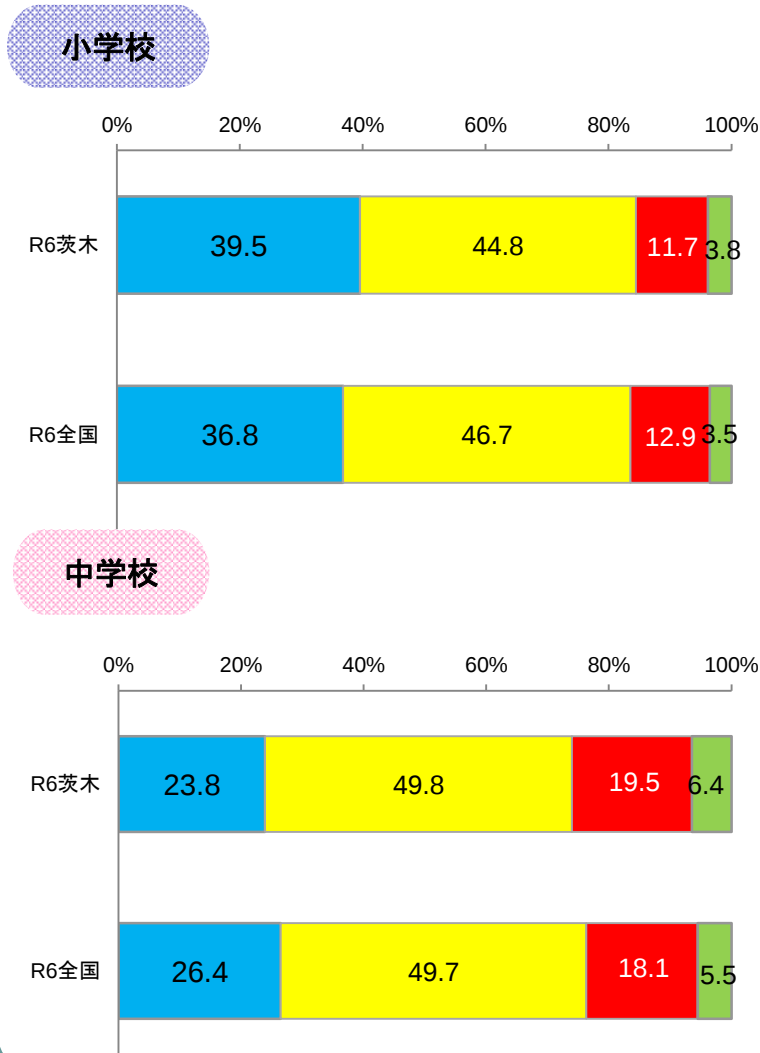
学習した内容について、分かった点や
分らなかった点を見直し、次の学習
につなげることができていますか。



分からないことや詳しく知りたいことが
あったときに、自分で学び方を考え、
工夫することはできていますか



地域や社会をよくするために
何かしてみたいと思いますか



【分析・検証】

○全国と茨木市との比較

・「自己肯定感」：小学校は高いが、中学校は同水準である。 ・「話し合う活動」：小学校・中学校ともに同水準である。 ・「地域社会をよりよくするために何かしてみたい」：小学校はやや高いが、中学校は同水準である。
・「将来の夢や目標」：小学校は同水準であるが、中学校はやや低い傾向である。 ・「友達との関係」：小学校・中学校ともに同水準である。

○検証

「自己肯定感」が経年比較では特に強い肯定において向上傾向にあり、非認知能力育成の一連の取組みの効果が表れていると考えられる。一方、学習に関する項目で、中学校が低下傾向にある。
これからの社会を生きる子どもたちに必要な「未来に向かって努力できる力」などの非認知能力育成を意識した取組みをより一層進めるとともに、個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実を図っていく。